

世界をなめらかにする仕事。



株主の皆様へ

第122期 中間報告書

2020年4月1日から 2020年9月30日まで

NTN株式会社

証券コード6472

NTNが1918年の創業から大切にしてきた創業者精神は、
 挑戦し続ける「開拓者精神」と社会とともに発展する「共存共栄精神」の2つです。
 これらの創業者精神は、NTNのDNAとして企業理念に込められ、100年以上経った今でも受け継がれています。
 企業理念を実践するために、NTNグループ従業員は目指すべき意識・行動を明文化した
 「NTNスピリット」を業務の拠り所としています。
 企業理念の実践を通じて、世界を取り巻く社会的課題の解決に貢献し、
 持続可能な「なめらかな社会」の実現を目指しています。

企業理念




新しい技術の創造と新商品の開発を通じて国際社会に貢献する

For New Technology Network

- 新しい技術で世界を結ぶ -

- 1 独創的技術の創造
- 2 客先及び最終消費者に適合した付加価値技術及びサービスの提供
- 3 着実な業績の伸長の下での社員の生活向上、株主への利益還元、社会への貢献
- 4 グローバリゼーションの推進と国際企業にふさわしい経営・企業形態の形成

NTN スピリット

信条	行動指針
挑戦 開拓者精神で 挑戦することで、芽が出て 	<ul style="list-style-type: none"> ● 現状に満足することなく、熱意をもって挑戦します。 ● 現地・現物を重視し、あらゆる変化に素早く対応します。 ● 自ら考え、自ら行動し、成長し続けます。
協働 共存共栄精神で 協働することで、葉が育ち 	<ul style="list-style-type: none"> ● お互いの違いを受け入れ、尊重し合います。 ● すべての仲間と助け合い、誠実に仕事をします。 ● 自然環境を大切にし、地域社会と共生し続けます。
約束 私たちの約束を果たすことで、 花や実をつける 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全を第一に、最高の品質を目指して仕事の「質」を高めます。 ● お客様に満足を超えた感動をお届けする最強のパートナーになります。 ● 仕事を通じて、世界中の人々のより良い生活を支え続けます。

なめらかな社会[※]の実現

※なめらかな社会：人と自然が調和し、人々が安心して豊かに暮らせる社会

ごあいさつ



株主の皆様へ

株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々及びご遺族の皆様にご哀悼の意を表しますとともに、罹患されている方々には改めてお見舞い申し上げます。

また、医療従事者や生活インフラを支えるため尽力されている皆様へ深く感謝いたします。

ここに、当社の第122期（2020年度）中間報告書をお届けいたします。

株主の皆様には今後ともご支援とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

取締役 代表執行役 執行役社長
CEO (最高経営責任者)

大久保 博司

目次

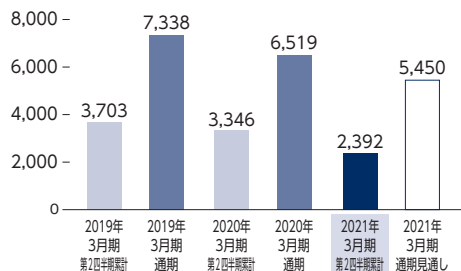
ごあいさつ	02	事業形態別の概況	09	会社情報・株式情報	14
トップインタビュー	03	連結財務諸表	11		
セグメント別の概況	07	トピックス	13		

見通しに関する注意事項

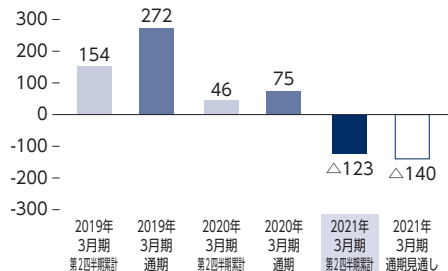
本報告書には、NTNの将来についての計画・戦略・業績に関する予測と見通しが含まれています。実際の業績は本報告書で述べられている見通しと異なる可能性があることをご承知おきください。

決算ハイライト

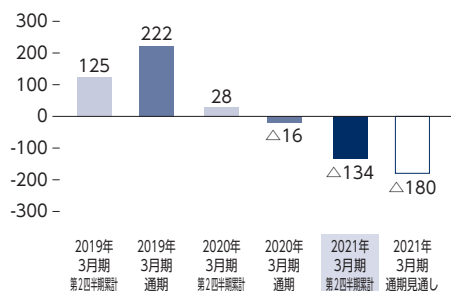
●売上高(億円)



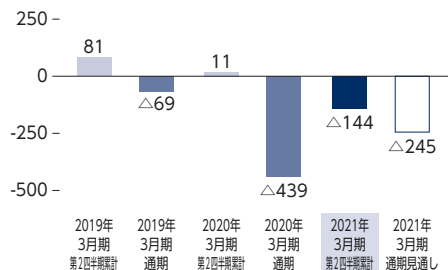
●営業利益(△は損失)(億円)



●経常利益(△は損失)(億円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(△は純損失)(億円)



🔊) 当期の配当について

当期の中間配当金につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により業績が急激に悪化しており、誠に遺憾ではございますが無配とさせていただきます。また、今後の見通しも不透明であるため、期末配当につきましても無配とさせていただきます。株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、収益回復に努め、早期の復配を目指してまいります。

配当金の推移(円)



*従来、営業外収益に計上していた「受取技術料」を当第1四半期連結会計期間から売上高での計上に変更したこと等に伴い、前連結会計年度以前の売上高及び営業利益を遡及修正しております。

Q 当第2四半期の経営成績についてお聞かせください。

A 当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日~2020年9月30日)における日本経済は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、依然として厳しい状況にありましたが、個人消費や生産などで持ち直しの動きがみられました。海外においても厳しい状況にありましたが、米国経済、欧州経済、中国経済は持ち直しの動きが続き、また、アジア他のその他新興国経済は

下げ止まりがみられました。

かかる状況下、2020年度につきましては、「危機対応期間」と位置づけ、感染防止策の徹底による「従業員の健康と安全の確保」、緊急事態下における「事業資金の確保及び事業継続」に注力するとともに、将来の成長に向けた準備を進めます。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、新型コロナウイルスの感染拡大による厳しい経済状況を受け、239,221百万円(前年同期比28.5%減)と大幅な減少となりました。損益につきましては、営業損失は12,323百万円(前年同期は4,684百万円の営業利

益)、経常損失は13,426百万円(前年同期は2,833百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は14,413百万円(前年同期は1,134百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

Q NTNの再生に向けた取組みについて教えてください。

A 当社グループは2018年4月にスタートした中期経営計画「DRIVE NTN100」において、最新のデジタル技術と当社グループがこれまで培ってきた経営資源を融合させ、「革新的な技術・商品・サービスの開発」、「調達改革」、「生産性と品質の追求」、「資産効率の向上」を進めております。

しかしながら、当社グループを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり業績が急激に悪化するなど、過去にない厳しい状況に直面しております。

かかる状況下、2020年度を前述のとおり「危機対応期間」と位置づけて、「従業員の健康と安全の確保」を図るとともに、「事業資金の確保及び事業継続」に注力しております。

一方で、危機的状況を乗り越え次の100年も成長し続けるため「将来の成長に向けた準備」も並行して進め、2021年4月から3年間の新たな中期経営計画につなげます。新中期経営計画では、市場環境の大きな変化に対応し、「DRIVE NTN100」で掲げている事業構造の変革(Transformation)を加速させてまいります。なお、新中期経営計画の詳細につきましては、来年3月までに公表いたします。



新中期経営計画 (2021年度～2023年度) (案)の概要

1) 基本方針

新しい100年に向けて、事業構造の変革(Transformation)を加速するとともに、財務体質・経営体制を強化し、経営環境の変化に対応できる企業体質の構築を目指します。

2) 基本戦略

1. 最新デジタル技術とNTN が培った経営資源を融合させて事業構造の変革に取組むという基本戦略を維持し、「DRIVE NTN100」策定時よりさらに進化しているデジタル技術(AI やRPA、IoT、5G等)を積極的に活用してまいります。
2. 既存事業については、増産投資を凍結し、経営資源の最適配分により、収益基盤の再構築を進めます。
3. 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、コロナ前の売上高の8割程度(5,700億円)しか回復しない場合でも、営業損失とならず、フリー・キャッシュフローの黒字化を達成できる体質改善を推進します。



3) 事業運営方針

1. 既存の商品・事業の利益率と投資効率の追求

- 既存商品・事業については、外部活用も加速させ、経営資源は当社技術の強みを発揮できる商品と工程に集中させます。

取組み状況

現在、深溝玉軸受（標準品）の外部パートナーへの生産委託をはじめ、ニードルベアリングやドライブシャフトの外部連携・アライアンスの活用を積極的に進めるなど、自前主義からの脱却に取り組んでいます。

- 新しいコンセプトで和歌山県に新設した生産拠点におけるスマートファクトリ化の推進、新基幹システムの活用や間接部門における業務自動化（RPA）等、最新デジタル技術により生産性向上や業務の効率化を推し進めます。

取組み状況

本年8月に新基幹システムへの移行を実施しました。今後、業務と生産性の高効率化をさらに加速させてまいります。

- 従来の発想を転換させた生産改革等を通じて、生産リードタイム短縮による在庫削減を進め、財務体質を強化します。

2. 新領域への展開の加速

- 事業化に近い新事業に経営資源を重点配分し、短期間で利益ある事業に育成します。

取組み状況

本年5月に軸受の異常を検知する「NTNポータブル異常検知装置」の販売を開始しました。今後は本商品を用いた診断・分析レポートの提供等、お客さまのニーズに合わせたサービスの展開も予定しており、従来の「モノ」を販売するビジネスから、技術サービスなどの新たな「コト」の領域へ事業を展開していきます。

- 環境型社会に貢献する自然エネルギー商品事業等にも積極的に取り組みます。

3. 経営体制の強化等

- 環境の変化を先取りした施策を実行していくため、戦略的な組織の構築を図ります。

取組み状況

本年10月、アフターマーケット事業と産業機械事業の垣根を越えた販売戦略の共有、課題解決を目的に、両事業本部の体制を一部見直しました。業種と商種の最適戦略の策定及び推進に向けた変革を加速してまいります。

- コーポレート・ガバナンスを一層強化していくとともに、ステークホルダーとの対話も積極的に進めます。

取組み状況

本年7月に開催の第121期定時株主総会での承

認を経て、当社で初めて取締役(社外)に女性が就任しました。今後も引き続きダイバーシティの推進に取組み、多様な価値観を融合することで持続的な成長に向けた変革を実現します。

- 仕事と個人のワークライフバランスを両立させ、より働きやすい職場環境の実現を目指しエンゲージメント向上に向けた人事制度改革を進めます。

取組み状況

現在、当社は新型コロナウイルス感染防止の観点から全拠点において出張の規制やテレワークによる出勤率の抑制を行っておりますが、今後は優秀人材の安定確保の観点から、テレワークの継続活用に加えて、裁量労働等の新しい働き方への対応も検討していきます。

- グローバル企業として持続可能な開発目標 (SDGs) を認識し、社会課題の解決に貢献していきます。

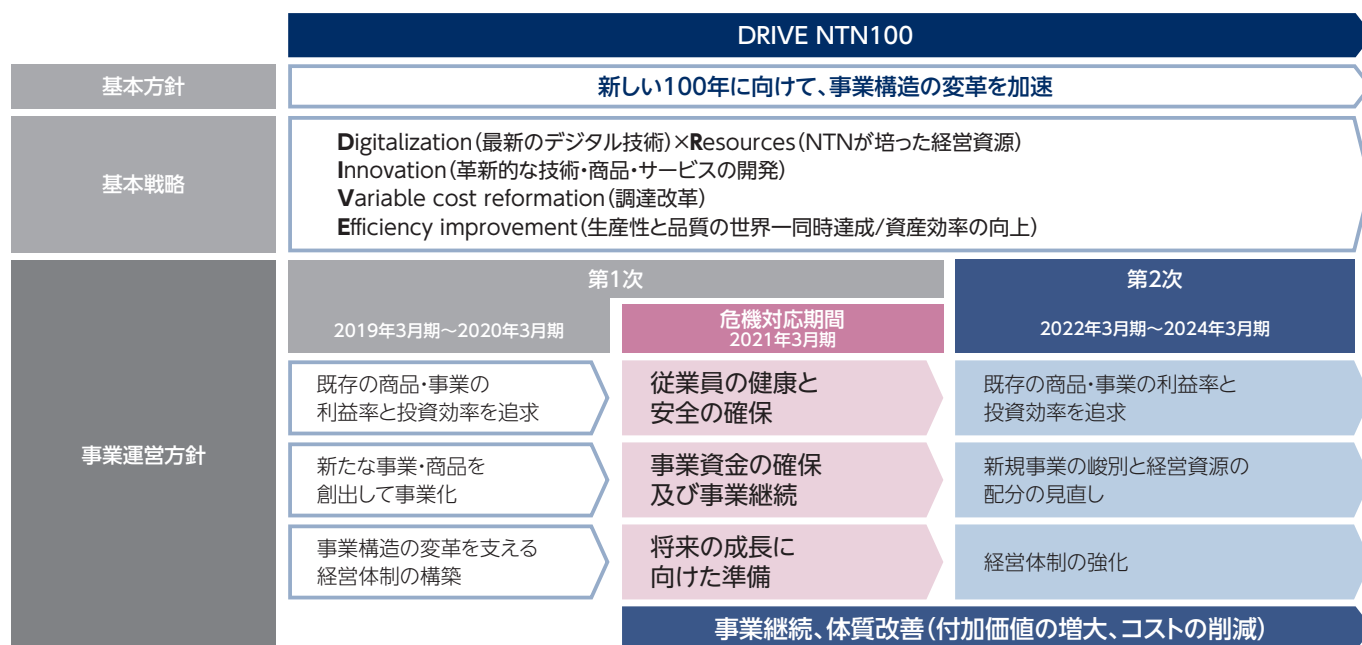
取組み状況

現在、マテリアリティの特定に取組んでおり、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献するビジネスモデルの構築と定着に向けた活動を推進しています。

当社グループは、「新しい技術の創造と新商品の開発を通じて国際社会に貢献する」という企業理念の実践を通じて、世界を取り巻く社会的課題の解決に貢献し、持続可能な「なめらかな社会^{*}」の実現を目指してまいります。株主の皆様には今後ともご支援とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

^{*}なめらかな社会：人と自然が調和し、人々が安心して豊かに暮らせる社会

NTN再生に向けた事業運営方針



セグメント別の概況

日本

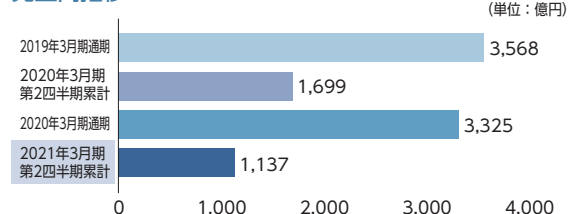
2021年3月期
(第2四半期累計)

売上高
1,137 億円

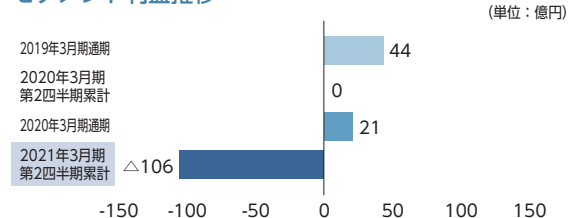
販売につきましては、補修市場向けは産業機械補修向けで減少しました。産業機械市場向けは建設機械向けや工作機械向けなどで減少し、自動車市場向けも客先需要の低減などにより減少しました。

この結果、売上高は113,760百万円(前年同期比33.0%減)と大幅な減少となりました。セグメント損益は固定費の減少などはありませんでしたが、販売規模の減少などにより10,682百万円のセグメント損失(前年同期は13百万円のセグメント利益)となりました。

売上高推移



セグメント利益推移



米州

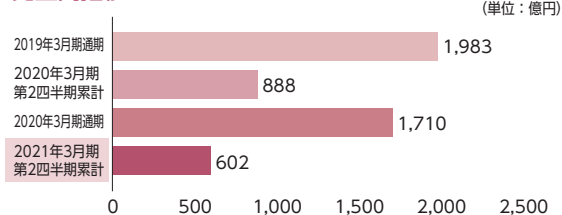
2021年3月期
(第2四半期累計)

売上高
602 億円

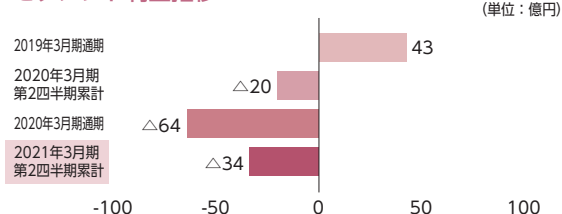
販売につきましては、補修市場向けは産業機械補修向け、及び自動車補修向けとも減少しました。産業機械市場向けは建設機械向けや風力発電向けなどで減少し、自動車市場向けも客先需要の低減などにより減少しました。

この結果、売上高は60,242百万円(前年同期比32.2%減)と大幅な減少となりました。セグメント損益は固定費の減少などはありませんでしたが、販売規模の減少などにより3,444百万円のセグメント損失(前年同期は2,011百万円のセグメント損失)となりました。

売上高推移



セグメント利益推移



*従来、営業外収益に計上していた「受取技術料」を当第1四半期連結会計期間から売上高での計上に変更したこと等に伴い、前連結会計年度以前の売上高及びセグメント利益を遡及修正しております。

欧州

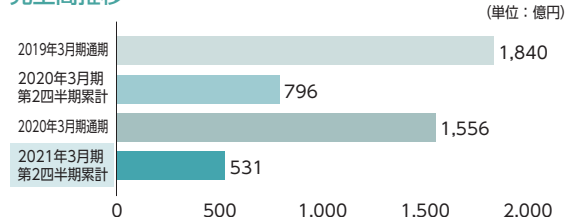
2021年3月期
(第2四半期累計)

売上高
531 億円

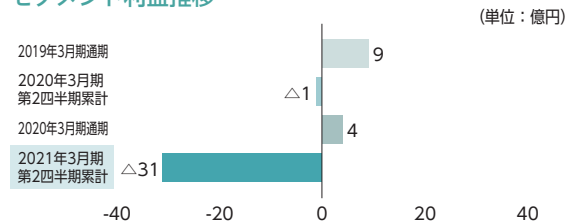
販売につきましては、補修市場向けは産業機械補修向け、及び自動車補修向けとも減少しました。産業機械市場向けは航空機向けや変速機向けなどで減少し、自動車市場向けも客先需要の低減などにより減少しました。

この結果、売上高は53,186百万円(前年同期比33.2%減)と大幅な減少となりました。セグメント損益は固定費の減少などはありませんでしたが、販売規模の減少などにより3,195百万円のセグメント損失(前年同期は108百万円のセグメント損失)となりました。

売上高推移



セグメント利益推移



アジア他

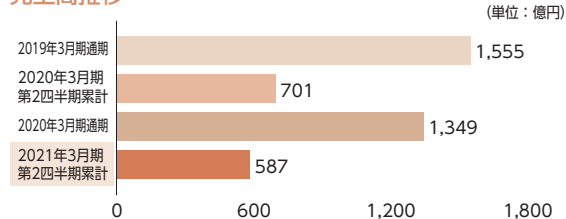
2021年3月期
(第2四半期累計)

売上高
587 億円

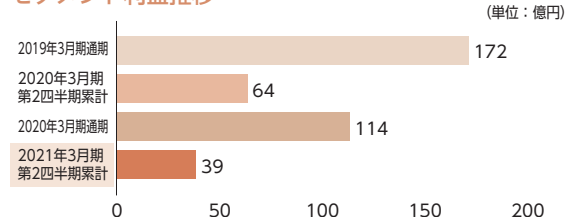
販売につきましては、補修市場向けは産業機械補修向け、及び自動車補修向けとも減少しました。産業機械市場向けは風力発電向けや建設機械向けなどで増加しましたが、自動車市場向けは客先需要の低減などにより減少しました。

全体としては、売上高は58,780百万円(前年同期比16.2%減)と大幅な減少となりました。セグメント損益は固定費の減少などはありませんでしたが、販売規模の減少などにより3,998百万円のセグメント利益(前年同期比37.6%減)となりました。

売上高推移



セグメント利益推移



*上記のセグメント情報には、セグメント間の取引が含まれております。

事業形態別の概況

補修市場向け

2021年3月期
(第2四半期累計) 売上高 **428** 億円

客先需要の低減などで 減収減益

客先需要の低減などにより売上高は、42,863百万円(前年同期比23.5%減)と大幅な減少となりました。営業損益は固定費の減少などはありませんでしたが、販売規模の減少などにより2,270百万円の営業利益(前年同期比65.9%減)となりました。

産業機械、自動車のメンテナンスニーズに対応するさまざまな商品を提供しています。商品の納入後も、技術講習会の開催等でお客さまの設備の生産性向上と安定稼働をサポートしています。

オートパーツ



複数のベアリングを組み合わせたパーツキット

製紙機械向け



ULTAGE 自動調心ころ軸受 EAタイプ・EMタイプ

鉄鋼設備向け



ULTAGE 密封形四列円すいころ軸受 CROU・LLタイプ

WEB講習会・メンテナンスツール



誘導加熱装置
アーム式自動調心機能付油圧引抜き治具

産業機械市場向け

2021年3月期
(第2四半期累計) 売上高 **468** 億円

建設機械向けの減少などで 減収減益

建設機械向けや航空機向けの減少などにより売上高は、46,874百万円(前年同期比13.1%減)と大幅な減少となりました。営業損益は固定費の減少などはありませんでしたが、販売規模の減少などにより1,363百万円の営業損失(前年同期は1,081百万円の営業損失)となりました。

建設機械や変減速機、農業機械、風力発電装置、航空・宇宙、鉄道車両等さまざまな産業機械分野で、低トルク化、小型・軽量化とともに軸受による環境負荷低減を実現しています。

建設機械向け



資源探掘や土木建設で活躍

航空・宇宙向け



世界のジェットエンジンに採用

風力発電装置向け



高まる再生可能エネルギーの需要に対応

鉄道車両向け



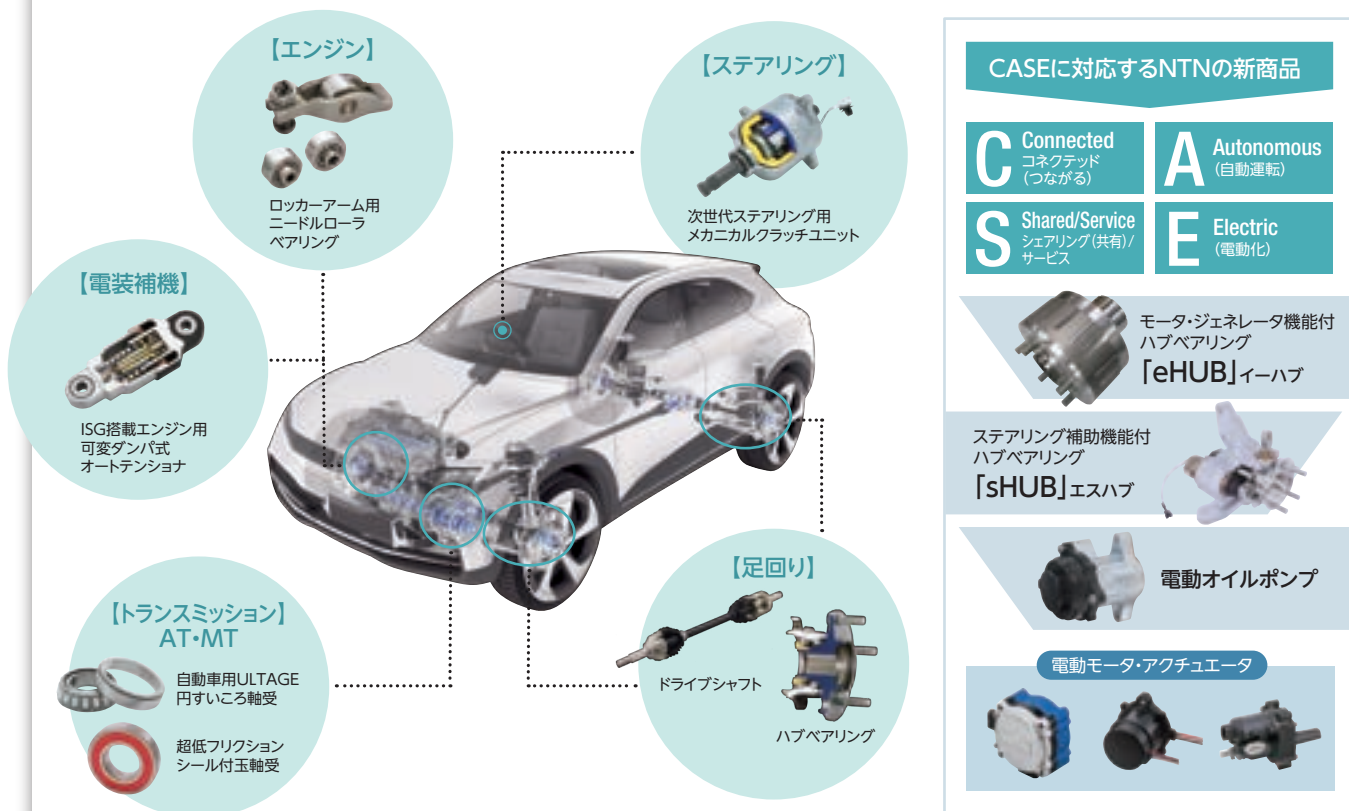
世界の高速鉄道の安全を支える

*従来、営業外収益に計上していた「受取技術料」を当第1四半期連結会計期間から売上高での計上に変更したこと等に伴い、前連結会計年度の売上高及び営業利益を遡及修正しております。

客先の操業停止による需要低減などで減収減益

客先の操業停止による需要の低減などにより売上高は、149,483百万円(前年同期比33.5%減)と大幅な減少となりました。営業損益は固定費の減少などはありませんでしたが、販売規模の減少などにより13,230百万円の営業損失(前年同期は895百万円の営業損失)となりました。

基盤商品の高機能・高付加価値化とともに、モジュール商品の開発を推進しています。さらに、自動車の電動化、自動運転に向けて「電動モータ・アクチュエータ」等を展開しており、自動車の低燃費化や乗り心地の向上といった従来のニーズならびに急速に進む電動化のニーズにも対応しています。



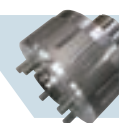
CASEに対応するNTNの新商品

C Connected
コネクテッド
(つながる)

A Autonomous
(自動運転)

S Shared/Service
シェアリング(共有)/
サービス

E Electric
(電動化)



モータ・ジェネレータ機能付
ハブベアリング
【eHUB】イーハブ

ステアリング補助機能付
ハブベアリング



【sHUB】エスハブ



電動オイルポンプ

電動モータ・アクチュエータ



*構造を見やすくするため、一部商品はカットした写真を掲載しています。
*事業形態別の代表的な商品例を掲載しています。

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (2020年9月30日)	前期 (2020年3月31日)	科目	当第2四半期 (2020年9月30日)	前期 (2020年3月31日)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	399,477	405,799	流動負債	261,405	286,963
現金及び預金	87,560	77,568	支払手形及び買掛金	43,305	48,675
受取手形及び売掛金	105,074	103,371	電子記録債務	41,711	68,684
電子記録債権	3,054	4,787	短期借入金	124,209	117,276
商品及び製品	92,251	96,616	未払法人税等	1,879	1,827
仕掛品	47,956	48,927	役員賞与引当金	68	43
原材料及び貯蔵品	34,786	37,379	その他	50,230	50,455
短期貸付金	59	2,651	固定負債	331,297	302,479
その他	29,807	35,557	社債	30,000	30,000
貸倒引当金	△1,073	△1,061	長期借入金	242,928	215,140
固定資産	353,573	352,022	製品補償引当金	984	1,118
有形固定資産	260,263	262,643	退職給付に係る負債	46,324	46,726
建物及び構築物(純額)	85,416	84,319	その他	11,059	9,494
機械装置及び運搬具(純額)	112,745	108,352	負債合計	592,703	589,443
その他(純額)	62,101	69,971	(純資産の部)		
無形固定資産	39,188	37,430	株主資本	169,613	183,668
投資その他の資産	54,121	51,948	資本金	54,346	54,346
投資有価証券	45,111	41,784	資本剰余金	67,970	67,970
繰延税金資産	5,487	6,035	利益剰余金	48,078	62,138
その他	3,734	4,340	自己株式	△782	△787
貸倒引当金	△211	△213	その他の包括利益累計額	△22,352	△27,511
資産合計	753,051	757,822	その他有価証券評価差額金	8,357	5,094
			為替換算調整勘定	△18,670	△19,998
			退職給付に係る調整累計額	△12,040	△12,607
			非支配株主持分	13,086	12,221
			純資産合計	160,347	168,378
			負債純資産合計	753,051	757,822

*従来、営業外収益に計上していた「受取技術料」を当第1四半期連結会計期間から売上高での計上に変更したこと等に伴い、前連結会計年度の財務諸表を遡及修正しております。

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期(累計) [2020年4月1日から 2020年9月30日まで]	前第2四半期(累計) [2019年4月1日から 2019年9月30日まで]
売上高	239,221	334,692
売上原価	209,156	280,722
売上総利益	30,064	53,969
販売費及び一般管理費	42,387	49,285
営業利益又は営業損失(△)	△12,323	4,684
営業外収益	3,102	3,467
受取利息	403	515
受取配当金	360	635
持分法による投資利益	—	87
為替差益	780	—
その他	1,557	2,230
営業外費用	4,205	5,319
支払利息	1,660	2,079
持分法による投資損失	80	—
デリバティブ評価損	1,286	—
為替差損	—	1,612
その他	1,178	1,627
経常利益又は経常損失(△)	△13,426	2,833
特別利益	3,936	—
助成金収入	3,936	—
特別損失	3,404	687
異常操業度損失	3,328	—
独占禁止法関連損失	76	687
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△12,894	2,145
法人税等	881	927
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△13,775	1,218
非支配株主に帰属する四半期純利益	637	84
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△14,413	1,134

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期(累計) [2020年4月1日から 2020年9月30日まで]	前第2四半期(累計) [2019年4月1日から 2019年9月30日まで]
営業活動によるキャッシュ・フロー	△12,450	22,064
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,301	△26,648
財務活動によるキャッシュ・フロー	35,991	△2,266
現金及び現金同等物に係る換算差額	307	△1,086
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	8,546	△7,936
現金及び現金同等物の期首残高	71,165	83,474
現金及び現金同等物の四半期末残高	79,711	75,538

NTNニュース配信登録のご案内

配信登録いただきますと、ニュースリリースなど、当社の情報を電子メールでお届けします。ご登録はこちらをご参照ください。

<https://www.ntn.co.jp/japan/newsmail.html>



※本配信サービスは、三菱UFJ信託銀行証券代行部が運営しています。



「NTNレポート2020」を 発行しました。

すべてのステークホルダーのご理解とご支援を賜ることが重要であると考え、経営計画や業績に加えて、CSR活動、環境保全への取組みなどを日英二カ国語で積極的に開示しています。

ポストコロナ時代のNTNの働き方

NTNは、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて2020年度を「危機対応期間」と位置づけました。企業活動の原動力となる従業員とその家族の健康と安全を守るため、テレワークの推進を始めとする、さまざまな取組みをグローバルで拡大しています。

大きく変化する働き方や生活様式に合わせて、世界中の拠点でより働きやすい職場環境の実現に向けた改革を進めており、すでに新しい働き方を実践している従業員からの声などをご紹介します。

アメリカ

NTN BEARING CORP. OF AMERICA

効率的に働くために デジタル化を進めます

外出禁止令が出ている間、メンバー全員自宅で業務を行いました。特にトラブルもなく新しいコミュニケーション方法を探すポジティブな経験になりました。一部の作業をデジタルに移行したほか、チャットやビデオ会議を取り入れ、リアルタイムでコミュニケーションができるようにしました。より効率的に働くために、今後クラウド技術などを導入し、ワークフローのデジタル化を進めます。



タイ



オンライン会議ツールで 技術講習会を開催

日本



ライブ配信で 技術講習会を開催



新入社員研修の オンライン化

フランス

アクリルパネルを 設けたオフィス



©PEDRO STUDIO PHOTO

インド

NTN BEARING INDIA PRIVATE LTD.

オンラインを活用しながら 柔軟な働き方を目指しています

外出制限を良い機会と捉え、柔軟な働き方に役立つテクニックを学びました。この取組みは、仕事の効率化にもつながると感じています。在宅勤務中はオンライン会議ツール等を活用し、販売代理店向けにオンラインで講習会を実施しました。今後、エンドユーザー向けにも同様の講習会を企画しています。在宅勤務中は時間管理の徹底を心がけつつ、開発案件や課題について同僚と日々話し合っています。



会社情報・株式情報 (2020年9月30日現在)

■ 当社の概要

社名 NTN株式会社
 商標 **NTN**
 創業 1918年3月
 設立 1934年3月
 資本金 543億円
 従業員 6,010名(連結:23,545名)
 事業内容 軸受、ドライブシャフト、精密機器商品等の製造及び販売

■ 取締役



取締役 江上 正樹 執行役	取締役 鶴飼 英一 代表執行役 執行役常務	取締役 大久保 博司 代表執行役 執行役社長	取締役 宮澤 秀彰 代表執行役 執行役専務	取締役 白鳥 俊則 執行役常務	取締役 大橋 啓二
社外取締役 小松 百合弥	社外取締役 津田 登	社外取締役 川原 廣治	社外取締役 川上 良	社外取締役 西村 知典	

■ 執行役

代表執行役 執行役社長	大久保 博司*	執行役	江上 正樹*
代表執行役 執行役専務	宮澤 秀彰*	執行役	尾迫 功
執行役専務	寺阪 至徳	執行役	皆見 章行
代表執行役 執行役常務	鶴飼 英一*	執行役	亀高 晃司
執行役常務	白鳥 俊則*	執行役	十河 哲也
		執行役	山本 正明

*取締役を兼務する執行役

■ 株主数及び株式数

●株主数..... 50,822名
 ●発行済株式数..... 532,463,527株
 (自己株式842,575株を含む)

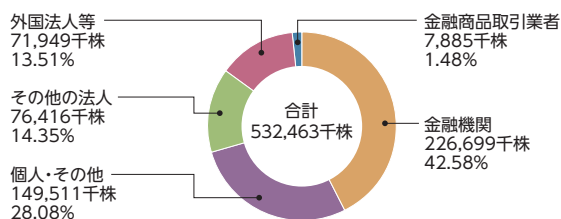
■ 大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率※ (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	48,344	9.09
第一生命保険株式会社	23,278	4.37
明治安田生命保険相互会社	22,467	4.22
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	17,557	3.30
NTN共栄会	15,445	2.90
株式会社三菱UFJ銀行	15,172	2.85
NTN従業員持株会	9,965	1.87
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	9,625	1.81
日本生命保険相互会社	9,206	1.73
三菱UFJ信託銀行株式会社	8,309	1.56

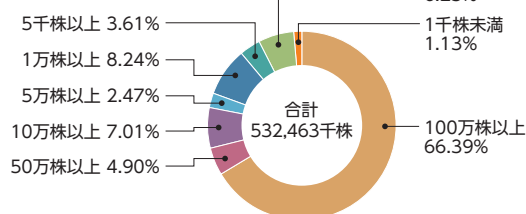
※持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

■ 株式分布状況

●所有者別



●所有株数別



世界を なめらかに する仕事。

NTN®

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
- 定時株主総会 事業年度終了後3か月内
- 基準日 毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主をもって、その事業年度に関する定時株主総会において権利を行使することができる株主とします。その他必要あるときは、あらかじめ公告して、基準日を定めます。

- 剰余金の配当 3月31日
- 受領株主確定日
- 中間配当 9月30日
- 受領株主確定日
- 公告方法 電子公告
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載の場合のホームページアドレス
(<https://www.ntn.co.jp>)

- 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関
〒100-8212
東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

- 同 連 絡 先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話（通話料無料） 0120-094-777

- ご 注 意
1. 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
 2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。